

令和2年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

図 工

学年	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の描きたいものや造りたいものを思い描いて、工夫して取り組むことができる児童が多い。しかし、なかなか思い通りにできず、自信をもてない児童も見られる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品を紹介する機会を設け、児童同士で認め合うことができるようにしていく。 作品例を提示し、イメージを明確にして取り組むことができるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 発想が豊かで自分の作品をよりよくしようとする思いがある児童が多い。しかし、思いはあっても自分の表現方法に自信がもてない児童もいる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品がイメージできない児童に対しては、ICT機器を使って作品例を提示することで、イメージがもてるようにする。 個々の作品を紹介し合う場を設定し、児童相互で認め合い、高め合えるようにしていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 題材によっては、最後まで集中力が続かず、簡素な表現で終わらせてしまう児童が各学級2～3名程度見られる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師がねらいとしている作品の完成度や、制作工程が分かりやすいように、参考作品等の提示をして、見通しをもたせる。 児童の完成作品を電子黒板に投影し、称賛の場を設定することで、制作意欲の向上を図る。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 発想を広げて作品をよりよくするための工夫や、自分なりの表現方法を見付けて取り組める児童は少ない。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の色や形に固執することなく、自由な発想で表現できるように、場面に応じて、参考作品や完成度の高い児童の作品を提示し、発想や表現の幅が広げられるようにする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの表現方法を見付けて、創造性を高めていける児童は少ない。 <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項やこれまでの経験等を生かして取り組めるように、様々な種類の作品を鑑賞し、造形的なものの見方や感じ方ができるようにする。また、表現に幅をもたせられるように、題材に応じて使用できる材料や道具を精選していく。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を働かせて、表現の幅が広がっていく児童と、簡素な表現で終わってしまう児童との技能差が大きい。 <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の見本となる作品や参考作品を提示し、造形的なものの見方や感じ方ができるように、ポイントを押さえ、表現方法の幅を広げられるようにする。 道具の使い方、制作の進め方等に課題がある児童には、個別の支援を行う。また、技能的な表現については、手本を示し、感覚的に捉えられるようにする。